



アルムの丘から

第 39 号

発行日 令和2年 8月10日 編集・発行 グリーンアルム広報委員会

郵便番号:382-0034 住所:長野県須坂市大字仁礼7番地10 電話番号:代表026-215-2662

令和3年4月から 特別養護老人ホーム「須坂荘」の運営を引き継ぎます

長野広域連合様では、特別養護老人ホーム「須坂荘」を社会福祉法人に移管するため、令和1年5月に須坂荘移管先選定委員会を設置し審議をお願いしていました。その後、令和1年10月28日に、長野広域連合理事会（正副市町村長合同会議）において審議した結果、選定委員会の選定結果を尊重し、社会福祉法人グリーンアルム福祉会に移管先を決定しております。

このことにより、令和3年4月から正式に当グリーンアルム福祉会が、「須坂荘」の運営に当たることとなります。

地域の皆様に、長年にわたり愛され続けた「須坂荘」の運営を引き継ぐことは、当法人にとっても身の引き締まる思いです。運営開始までの約半年間、全職員一丸となって準備を進めてまいります。



須坂荘2021



須坂荘概要

- <名称> 特別養護老人ホーム 須坂荘
- <設置許可日> 昭和61年10月1日
- <提供するサービス> 特別養護老人ホーム 70名、併設短期入所 8名、居宅支援事業所



事業開始に向けて新しい仲間を募集しています

勤務場所 グリーンアルム複合施設（須坂市大字仁礼7番地10）か須坂荘（須坂市塩野951番地）のいずれかになります。さまざまな介護・福祉サービスを提供しておりますので、あなたに希望する施設を選択することが可能です。（できるだけ希望に添うように提案いたします。）

募集職種 介護職（未経験でも可）、介護支援専門員、看護師、他

その他 充実した資格取得制度・研修制度、法人内診療所の医療費補助制度等
↓↓詳しい内容等はこのスペースのみではお伝えできません。↓↓

申込方法 まずはお電話でご連絡ください。（担当：人事係 宮澤）

TEL 026-215-2662

気軽に施設見学を兼ねてお越しいただき、勤務条件等お聞きしながら詳しく説明させていただきます。申し込みよろしくお願いたします。



グリーンアルム福祉会での 新型コロナウイルスの対策について

今年2月から全国的に感染が続いている新型コロナウイルスですが、現在は第2波とも呼べる感染拡大が続いています。7月26日には須坂市でも感染者が確認されました。

当法人でも、新型コロナウイルスの対策をとっておりますが、感染が広まってからどのような対策をとってきたのか公表いたします。

このことにより、地域の皆様方に今後も感染を広めないためのご理解とご協力をいただけたらと考えております。

グリーンアルム福祉会での事業継続に当たっての目安

段階	判断目安	事業継続内容
レベル0	感染症未発生	通常営業
レベル1	長野県で感染症が発生	通常営業 (面会中止、施設内交流中止)
レベル2	北信地域及び上田市菅平地区で感染症が発生	施設の入所を停止 通所系の事業を縮小
レベル3	施設内の利用者・職員に感染症が発生	施設の入退所を全面停止 通所系の事業を停止

施設で定めた目安に従って、新型コロナウイルスの感染対策を行ってまいりました。

経過

- 2月上旬 クルーズ船において感染者が発生
- 2月中旬 国内の初感染者が発生
- 2月25日 県内で初感染者が発生、施設内利用者との面会中止、施設内ボランティア受入れを中止する。
- 4月上旬 デイサービスの利用者の数を制限する。
- 5月13日 タブレットを使ってオンラインでの面会を開始する。
- 7月1日 面会中止を解除する。
- 7月22日 再度、面会中止を開始する。
- 7月26日 須坂市で初の感染者が発生する。

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



昨年の台風19号から、全世界で感染者が増加し続けている新型コロナウイルス、7月に入ってから豪雨災害、地震と災害が絶えない日々が続いています。日本列島は、そして地球はどうなってしまうのかと考えさせられます。テレビやインターネットから得る情報から、多くの知名人や芸能人が被災地等に寄付を行い、多くの国民が被災地に向きボランティア活動を行っている様子を見ると、日本人として誇りや温かさを感じます。特にボランティアに関しては、「自分が困った時に助けられたので、今度は自分が向く番だ。」とか、「あんな光景を目のあたりにすれば、じつこしてはられない。」と言つ声を耳にすると、頭が下がる思いです。当施設にも、開設当初から多くのボランティアさんにお越しいただいています。内容は様々ですが、利用者さんをはじめ、職員も大変感謝しております。施設でのボランティア活動は、被災地でのボランティアとは違います。が、「ボランティアを出来る方が、出来る事を、出来るだけ」行つことを皆さんに発信してきました。今後も地域に開かれた施設として、多くの方に気軽にお越しただけるよう、努力したいと思います。

(井出)

編集後記